

各種審議会等審議結果公表シート

会議の名称	第1回中津川市介護保険運営協議会
開催日時	令和2年7月2日（木） 13時00分～14時40分
開催場所	中津川市健康福祉会館 4階 多目的ホール
出席者の 役職名	<p>委員：恵那医師会代表・老人保健施設代表・訪問看護事業者代表・老人福祉施設代表・居宅介護支援事業者代表・居宅介護支援事業者代表・老人クラブ連合会代表・東濃地区労働組合協議会代表・被保険者代表・被保険者代表・社会福祉協議会代表・民生委員児童委員協議会連合会代表・介護相談員代表</p> <p>事務局：市民福祉部長・市民福祉部福祉局長・高齢支援課長・介護保険課長・高齢支援課長補佐・介護保険課長補佐・同係長</p>
傍聴者	1名
話し合われた内容（会議録又は審議概要）	別紙
会議資料	（添付ファイル）
次回開催予定日時	令和 2年10月頃
次回開催予定場所	中津川市健康福祉会館
所管部課	市民福祉部介護保険課

欠席者

- ・区長会連合会代表
- ・ユニオンネット中津川代表

令和2年度 第1回中津川市介護保険運営協議会

令和2年7月2日(木) 13:00~14:40
健康福社会館 4階 多目的ホール

進行：介護保険課長

- 1 委員委嘱
- 2 あいさつ(市長)
- 3 会長、副会長選任
- 4 会長、副会長のあいさつ
- 5 諮問 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定について
- 6 介護保険運営協議会について 資料1
- 7 議題
 - (1) 中津川市の高齢者保健福祉・介護保険の現状について 資料2

<事務局説明>

会長： どうもありがとうございました。それでは、今の議題に関するご質問がありましたら、挙手の上、ご発言を頂きたいと思えます。私から少しお尋ねしたいのは、介護保険料というのは極めて敏感な問題ですが、これは値上げをしているわけですね。それで今のお話でいくと、第1段階、第2段階、第3段階までのところを値上げしたわけですね。

事務局： 値上げではなくて、軽減をしました。

会長： 軽減したということですね。分かりました。ありがとうございます。

何かご質問はありますでしょうか。75歳以上の高齢者がさらに増えていくという市の人口動態の予想があって、中津川市の年間死亡者数も、今、1,000人から1,100人で、20年間続くなどという予想もあって、その他に、生産年齢人口が1万人減るだろうという予想もあるわけですね。そういう中で介護保険を支えていく人をどうしたらいいか、保険料はどうなっていくのだろうか、あるいは実際に働く人たちのどういうふう確保していくか、これは大変大きな問題になるのではないかと思います。私の個人的な意見としては、申し訳ないのですが、ぜひ高齢者の方にボランティアあるいは社会奉仕の気持ちを持っていただいて、社会を支えていただくという雰囲気をつくっていくということも、非常に私は大切ではないかと思います。高齢者の人の互助ですね。この制度を守っていくためには、そういった考え方を広めていくということが非常に大切ではないかと思っています。

何か他にご意見やご質問はありますか。

委員： 今回の第8期に向けての高齢者の保健福祉計画あるいは介護保険計画、これはもちろん2025年問題を見据えての計画になるかと思っています。今のこの表では令和2年までありますけれども、これから5年先の2025年に中津川市のこの高齢化社会がどういう姿になっているか、それを、高齢化率も含めて、簡単にお話していただければと思いますが。

事務局： 人口の推移については、お手元にもお配りしている「7期計画」の10ページに、7期計画を作ったときの人口推移ということで、2025年度の人口を載せています。こちらの表を見

ると、2025年には人口は減っていく形になり、中津川市の総人口としては、7万3,492人ということになりますけれども、高齢化率は右肩上がりであり続けて、その時期には33.8%ということになっています。先ほどの資料で、今現在の中津川市の高齢化率は32.5%ということになっていますが、まだ2025年に向けて上がっていくということが予想されています。

会 長：以上でよろしいでしょうか。他に何か、ご質問やご意見はありませんか。

委 員：この8期計画の中で、これから高齢化率が、32.5から33.8と増えていきますけれども、例えば介護施設は今現在のそれで充足されるのか、それとも在宅介護のほうへ転換されてしまうのか、現時点で分かる範囲で結構ですので、その辺を教えてくださいたいと思います。

事務局：今のご質問については、後でまた説明をしますけれども、ニーズ調査のアンケート等を見ると、ニーズとしては在宅で介護したいという方も当然多いですし、施設に入って介護したいという意見も多くあります。どちらにしても意見が分かれるところです。その中で、特別養護老人ホームとかグループホームについては入所待ちになっている方がいるのも現実的なところでありまして、そのまま希望どおりになるような形にしてしまえば、施設をもっとつくらなければいけないと思われまして。

ただし、そのまま施設を造り続けてしまうと、それは給付費が増加一方となってしまいまして、それを支える側の保険料とか、そこに投入される市、県等の税金がどんどん膨らむことにつながってきますので、そのあたりのバランスを今後どう取っていくかというところが問題になっていくかと思っています。

委 員：ありがとうございました。

会 長：少し補足させていただきます。要介護度5で自宅で生活をしていきますと、介護保険からの支給が大体8万ぐらいです。要介護度5で施設に入っていると、大体平均1カ月24万が介護保険から支出がされます。介護施設の場合には3倍の費用がかかるのです。その辺のことをよく市民の方に理解していただくことと、あとこの人口が減っていつているということは、働き手がなくなるということです。施設をたくさんつくるということは、働き手を確保しなくてはいけませんから、その確保の問題になってきます。ということで、もう外国人に頼るしか仕方がありません。ベトナム人、フィリピン人、インドネシア人などです。その辺のことを市民の方は、今後、外国人の世話になるということを受け入れていく必要があります。ですから、政府が在宅へかじを切ろうということは、やはり大変意味があることです。在宅で在宅系のサービスを利用しながら、家族に囲まれて息を引き取りたいというのは、今度はそれを受け入れてあげる家族がいるということです。家族に覚悟があるかという話になりますので、その辺の兼ね合いをみんなで考えたいと思います。

他に何かご意見はありますか。

それではないようですので、次の議論にまいりたいと思います。

(2) 第7期介護保険事業計画の進捗管理について 資料3

<事務局説明>

会 長：今、内容の説明を頂きましたが、何かご意見やご質問がありましたら、出していただきたいと思います。大変いろいろな施策をやっていただいています、中津川市の取り組みは、他の市町村と比べても大変良くやっていただいているなど日頃思っているところなのですが、何かご意見やご質問はいかがですか。

委 員：「第7期介護保険事業計画『取組と目標』」についてです。この「自己評価」の「○」や「◎」については、上に評価基準が書かれていますが、実際は、例えば「給付適正化」のところでもかなり細かい項目が入っているのです。達成率「60～79%」が「○」というように全部グロスで評価していますが、このもっと細かい項目について、「できていないものをどうするか」という評価を出したほうが良いのではないかと思います。いかがですか。

事務局：委員さんのおっしゃるとおりで、今回、第7期事業計画を策定した際には、「現状と課題」に

対する「具体的な取組」という項目については、先ほど説明させていただいたとおり細かく掲載させていただいているところなのですが、数値目標というところが実際に少し曖昧な部分もあります。第8期計画の際には、そういった事業の進捗管理というところ、評価というところに目線を置きながら計画を策定していく必要があると考えています。

委員：ありがとうございます。ぜひ不足のところを第8期につなげるというように、強弱を付けていただければありがたいと思っています。

会長：8期につながる強弱を付けたというご指摘がありましたので、よろしくお願ひしたいと思ひます。他に何か、ご意見やご質問はありませんか。

委員：いろいろと細かいところまで分析されて、第8期に生かしていただきたいと思っています。この内容というのは、市民、住民の方になかなか広報されていないというのが僕の実感です。僕も福祉には携わっているのですが、こういった事業が実際にどの程度行われているのかというのを、この数字を見て初めて知ったということが事実かなと思っています。それなりに数字として頭の中で整理をさせていただきました。

あと1点ですけれども、現状でかなり動くというような、要は前期の部分を生かして後期に生かすという内容で書かれているのですが、もっと先を見据えたところを考えると、国や行政は、認知症の方を理解するために新オレンジプランというもの出していると思います。学校の先生方ともいろいろと話をしますが、小学校や中学校のうちから、新オレンジプランに反映したような内容、いかに認知症の方や高齢者の方を受け入れていくか、どのようなものなのかというものを認識した上で社会に出ていくということだと思ひます。どこもそうだと思うのですが、今現在どうするのかということではなくて、2025年になったときにどうするのかということです。例えば僕が恐怖だと思ひているのは、2025年に、75歳、後期高齢者を迎える芸能人の方ってどなたかお分りですか。ビートたけしさんとか高田純次さんとか、そういったコメンテーターをする方々なのですね。その人たちを若い世代がケアしていくのはものすごく大変というか、知識ははるかにその方々のほうが上だと思うので、そういう方々に負けない介護力を持った介護者というのが求められる時代が来ると思ひます。おまけに2025年以降は、高齢化率は上がるのだけれども介護する人材がいなくなります。では人材をどのように確保していくかということでも、小さいうちから介護という部分に興味を持って目を向けるということです。坂下高校などはかなり定員割れをしているような状態なので、そういったところにもアプローチすることによって、中津川市の福祉というのは見えてくるのかなとは思ひます。何らかの形で小学校、中学校という部分の末端から福祉の教育がなされると、また違う芽が出るのかなと思ひます。以上です。

会長：今、大変良い意見を頂きました。今の認知症を理解する上で、小中の頃の教育から福祉に対する興味と関心を持っていただくというご意見でしたので、また検討してもらいたいと思ひます。

委員：社会福祉協議会です。今も、私は、幼稚園、小学校、中学校、高校と、各学校に、福祉教育指定という形を取らせていただきまして、社会福祉協議会から、年間小学校で3万円ぐらいだと思いますけれども、それぐらいのお金をお渡しして年間のカリキュラムに入れていただいています。その中で、「福祉教育についてやってください」ともお願いをして、その成果として、私どもで毎年、社会福祉大会というものをやっていますが、そこで中学校の生徒さんなどに発表していただいて、福祉に携わる気持ちを醸成していただくという活動もやっているということをご承知いただければありがたいと思ひます。以上です。

会長：どうもありがとうございます。社協の取り組みを少し紹介していただきました。他に、ご質問やご意見はありませんか。それでは、この議題の案件はこれで締め切らせていただきまして、次に進めたいと思ひます。

(3) 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定および策定スケジュールについて 資料4

<事務局説明>

会 長：では、今の説明に対して何かご質問やご意見はありますか。これもコロナウイルス蔓延の状況によっては、増えてくる可能性があるのですけれども。運営協議会としてこの予定どおり開いていけるのかということもありますし、パブリックコメントができるかという問題もあるのですけれども、この予定どおり進んでいくことを願ってやまないところです。何かご質問やご意見はありますか。それでは次の議題に移らせていただきます。

(4) 介護に関するアンケート調査結果について 資料5

会 長：どうもありがとうございました。この資料はうまくまとめていただきました。アンケート調査の結果ですので、これを次回に生かしていけばいいということなのでしょう。取りあえず、ここで何かご意見やご質問がありましたら、出していただきたいと思います。ここに出てきているのは、前から問題になっていることばかりなのですよね。さして新しいものは出てきていないと思います。10年前も問題としていたことが、やはり問題となっていて解決されていないという意識が強くあります。それでは、この話はここで終わらせていただきます。

(5) 地域密着型施設等の指定更新について 資料6

会 長：それでは、今の事務局の説明に従いまして、皆さんのご意見をお伺いしたいと思います。ご意見のある方はお願いします。特にご意見がないようですので、引き続いて承認するというところでよろしいでしょうか。

[異議なしの声あり]

会 長：それでは、それでいいということですね。では、よろしくお願いします。以上で、今日、用意されました議題に関する審議は、大体、終わったわけですが、最後に一言、何かご発言したいという方がいらっしゃいましたら、お願いします。特にないようですので、これで議題は終了させていただきたいと思います。

8 その他

事務局：ここで1点、報告をさせていただきます。先日の6月議会におきまして、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少するなどの影響を受けた保険料減免をするために、介護保険条例の一部を改定させていただきましたので、ここにご報告させていただきます。

[閉 会]